

科 目	必・選	担 当 教 員	学 年 ・ 学 科	単 位 数	授 業 形 態								
学外実習 (Internship)	選	山田 宰	4 年 生 環境都市工学科	1	集中研修								
授業概要	国、地方公共団体、企業において、環境都市工学に関わる技術の研修・実習を行う。												
到達目標	実社会において、環境都市工学の専門的技術の重要性や技術の具体的な活用方法を習得する。 (C)												
評価方法	実習報告書および実習報告会での発表内容をもとに判断・認定する。												
内 容					学習・教育目標 B								
第 1 週	4－ 6 月：学外実習内容の説明												
第 2 週	和歌山県インターシップ 制への登録												
第 3 週	受け入れ機関の紹介												
第 4 週	実習申込み・決定												
第 5 週	7－ 8 月：実習（5日間程度）												
第 6 週	実習報告書作成												
第 7 週	9－11 月：実習発表用資料作成												
第 8 週	：実習発表会にて発表												
第 9 週													
第10週													
第11週													
第12週													
第13週													
第14週													
第15週													
第16週													
第17週													
第18週													
第19週													
第20週													
第21週													
第22週													
第23週													
第24週													
第25週													
第26週													
第27週													
第28週													
第29週													
第30週													
(特記事項)		JABEEとの関連											
		JABEE	a	b		c	d1	d2a) d)	d2b) c)	e	f	g	h
		本校の学習	A	A		C-1	C-1	C-2	B	B	D	C-3	B
		・教育目標										◎	

1. 合格ラインについて、特に記載の無いものは、60点以上を合格とします。

2. 定期試験について、特に記載の無いものは、評価配分を均等とします。（【例】年4回定期試験を実施した場合の各定期試験の評価配分は、特に記載の無いものは、25%ずつになります。）

学外実習 4学年

環境都市工学の技術について、実社会での具体的な活用方法や技術習得の重要性を体験する。学外実習の概要は次のとおりである。

①実習機関の決定

- 4－6月：学外実習内容の説明
和歌山県インターシップ制への登録
受け入れ機関の紹介
実習申込み・決定

②実習・体験学習

- 7－8月：実習（基本的に5日程度）
実習報告書作成

③実習報告・発表

- 9－11月：実習報告書提出
：実習発表用資料作成
：実習発表会にて発表

実習受入れ企業の例：国土交通省、和歌山県、和歌山市、田辺市、御坊市、川辺町、
日本道路公団、水資源機構、大林組、鹿島建設、小池組、
和建技術、日本上下水道設計、日高測量設計など